



2023年3月期 第3四半期決算短信(IFRS)(連結)

2023年2月8日

上場会社名 ウェルネオシュガー株式会社 (旧上場会社名 日新製糖株式会社)

上場取引所

東

コード番号 2117 URL <https://www.wellneo-sugar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本 貢司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部担当

(氏名) 大場 健司

TEL 03 - 3668 - 1293

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	38,042	8.0	1,250	45.0	1,413	41.6	839	49.7	839	49.7	1,107	33.4
2022年3月期第3四半期	35,222	6.0	2,275	10.8	2,418	9.3	1,669	69.4	1,669	69.4	1,663	64.3

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	37.98	
2022年3月期第3四半期	75.58	

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	61,569	48,338	48,338	78.5
2022年3月期	61,134	48,904	48,904	80.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		33.00		34.00	67.00
2023年3月期		33.00			
2023年3月期(予想)				33.00	66.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

経営統合に伴う記念配当については、本日(2023年2月8日)公表しました「2023年3月期 通期連結業績予想の修正および経営統合の記念配当金額に関するお知らせ」および添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 イ. 経営統合に伴う記念配当の金額について」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	23.7	1,300	39.9	1,500	37.9	900	47.5	900	47.5	36.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2023年2月8日)公表しました「2023年3月期 通期連結業績予想の修正および経営統合の記念配当金額に関するお知らせ」および添付資料P. 4

「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ア. 2023年3月期の連結業績予想の修正について」をご覧ください。

なお、業績予想については、経営統合に関する現在入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

当社は、2023年1月1日付の伊藤忠製糖株式会社との経営統合にあたり、伊藤忠商事株式会社に対して同日付で普通株式12,379,600株を交付しました。連結業績予想の「基本的1株当たり当期利益」については、当該交付後の発行済株式数を反映し、算定しています。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	22,673,883 株	2022年3月期	22,673,883 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	570,830 株	2022年3月期	578,113 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	22,099,613 株	2022年3月期3Q	22,091,406 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

2023年1月1日付で日新製糖株式会社（同日「ウエルネオシュガー株式会社」に商号変更（以下、「当社」という。））は、当社を株式交換完全親会社とし、伊藤忠製糖株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を行うとともに、当社の完全子会社である日新製糖分割準備株式会社（同日「日新製糖株式会社」に商号変更（以下、「日新製糖株式会社」という。））との間で吸収分割を行いグループ経営管理事業及び資産管理事業を除く当社の全ての事業を承継させ、持株会社体制に移行しました。以下の当第3四半期連結累計期間の経営成績等は、当該経営統合前の当社グループに関する概況です。なお、当社は当該経営統合前の当社の証券コード（2117）で東京証券取引所プライム市場での上場を継続しています。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大があったものの、継続的な感染対策と行動制限の緩和によって経済活動の正常化が進みましたが、ウクライナ情勢の緊迫化による資源価格上昇や日米金利差拡大を背景とした円安等の影響により諸物価が上昇し、先行きは不透明な状況です。

当第3四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことを受け、売上収益は38,042百万円（前年同期比8.0%増）となりました。一方で、エネルギーコスト・原料調達コスト等の上昇および伊藤忠製糖株式会社との経営統合関連費用の発生等により、営業利益は1,250百万円（同45.0%減）、税引前四半期利益は1,413百万円（同41.6%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は839百万円（同49.7%減）となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

[砂糖その他食品事業]

海外原糖市況につきましては、1ポンド当たり19.42セントで始まり、欧米など主要各国での金融引き締めによる景気後退懸念から原油相場が軟調となり、主要生産国ブラジルの国内ガソリン価格の引下げ等でバイオエタノール生産よりも砂糖生産にシフトするとの思惑から、8月上旬には今期安値となる17.20セントまで値を下げました。11月以降は、欧州のビート減産懸念やインドの砂糖輸出に不透明感が強まる中、需給逼迫を意識した投機的な買いを背景に12月下旬に今期高値となる21.18セントまで値を上げた後、20.04セントまで値を戻して当第3四半期を終了しました。

海外原糖市況（ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限））

	日付	セント/ポンド	円/kg	為替（円/ドル）
始 値	2022年4月1日	19.42	52.75	123.20
高 値	2022年12月23日	21.18	62.46	133.77
安 値	2022年8月1日	17.20	50.78	133.91
終 値	2022年12月30日	20.04	59.07	133.70

(注) 1ポンドは約0.4536kgとして換算し、為替は当日の三菱UFJ銀行直物為替公表T T Sによっています。なお、12月31日は東京外国為替市場が休場のため、12月30日の三菱UFJ銀行直物為替公表T T Sによっています。

国内精糖市況（日本経済新聞掲載、東京）につきましては、上白糖1kg当たり204円～205円で始まり、8月初旬に216円～217円に上昇し、当第3四半期を終了しました。

このような状況のもと、主力の砂糖につきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことや全国旅行支援策等による人流の増加によって、飲食・冷菓等が回復し、土産菓子・外食関係についても一部回復が見られたことで、業務用製品は増加しました。家庭用製品は巣ごもり需要が減少するなかで伸び悩みましたが、当社独自製品のきび砂糖は好調に推移しました。その結果、砂糖全体の出荷量は前年同期を上回りましたが、利益面においては、エネルギーコストの著しい上昇、円安の影響を受けた原料調達コストの上昇および伊藤忠製糖株式会社との経営統合関連費用の発生等により、前年同期を下回りました。

ツキオカフィルム製薬株式会社につきましては、純金箔事業においてコロナ禍からの回復に加え、海外向け製品の増加があった一方で、フィルム事業ではコロナ禍の影響等で需要があった製品が減少したことから、減収減益となりました。

以上の結果、砂糖その他食品事業合計の売上収益は34,701百万円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益は932百万円（同56.1%減）となりました。

〔健康産業事業〕

健康産業事業につきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたこと等により会員数は回復傾向にあるものの、過去最多の感染者数となった第7波および第8波等の影響を受け、回復スピードは鈍くコロナ前の水準には戻っていません。売上収益は1,947百万円（前年同期比16.0%増）、セグメント損失は30百万円（前年同期はセグメント損失100百万円）となりました。

〔倉庫事業〕

倉庫事業につきましては、港湾運送において輸入合板の取扱量が大幅に増加したことにより、売上収益は1,392百万円（前年同期比15.3%増）、セグメント利益は348百万円（同38.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は25,750百万円となり、前連結会計年度末に比べ671百万円増加しました。これは主にその他の金融資産が1,790百万円減少した一方で、営業債権及びその他の債権が1,501百万円、棚卸資産が945百万円それぞれ増加したことによるものです。非流動資産は35,819百万円となり、前連結会計年度末に比べ236百万円減少しました。これは主に使用権資産が171百万円増加した一方で、有形固定資産が433百万円減少したことによるものです。

この結果、資産合計は61,569百万円となり、前連結会計年度末に比べ434百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は8,605百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,008百万円増加しました。これは主に営業債務及びその他の債務が766百万円、その他の金融負債が183百万円それぞれ増加したことによるものです。非流動負債は4,625百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少しました。

この結果、負債合計は13,231百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,000百万円増加しました。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は48,338百万円となり、前連結会計年度末に比べ565百万円減少しました。これは主に親会社の所有者に帰属する四半期利益839百万円および配当金の支払による減少1,480百万円によるものです。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は78.5%（前連結会計年度末比1.5ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ア. 2023年3月期の連結業績予想の修正について

第4四半期以降のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、経済活動が正常化に向かうことが期待されますが、ウクライナ情勢等による影響が懸念され、引き続き予断を許さない状況にあります。

そのような状況のもと、当社は、2023年1月1日付の伊藤忠製糖株式会社との経営統合（以下、「本経営統合」という。）を実施しました。

本経営統合は、両社の経営資源・ノウハウを結集することで、業務体制・人的資源の最適化、生産拠点の効率化、物流網や原料調達網の集約整理等を通じた効率的なグループ経営を推進・深化することを目的としております。これまで両社が取り組んできた独自性の高い新素材に関する研究開発を更に発展させ、新商品開発を積極的に行い、今後の成長分野や注力分野に取り組みながら、人々の健康への貢献を目指してまいります。

2022年11月8日の「2023年3月期 第2四半期決算短信」で公表しました連結業績予想（以下「前回公表予想」といいます。）については、本経営統合により伊藤忠製糖株式会社の2023年1月1日から3月31日までの連結業績を織り込んだ結果、下表のとおり上方修正します。なお、業績予想については、本経営統合に関する現在入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	当期利益 (百万円)	親会社の所有者 に帰属する 当期利益 (百万円)	基本的 1株当たり 当期利益 (円 銭)
前回公表予想 (A) (2022年11月8日)	50,000	1,000	1,200	700	700	31.67
今回修正予想 (B)	57,000	1,300	1,500	900	900	(※) 36.65
増減額 (B)－(A)	7,000	300	300	200	200	4.98
増減率 (%)	14.0%	30.0%	25.0%	28.6%	28.6%	15.7%
前期実績 (2022年3月期)	46,062	2,164	2,414	1,715	1,715	77.63

(※)当社は、2023年1月1日付の伊藤忠製糖株式会社との経営統合にあたり、伊藤忠商事株式会社に対して同日付で普通株式12,379,600株を交付しました。連結業績予想の「基本的1株当たり当期利益」については、当該交付後の発行済株式数を反映し、算定しています。

当社グループにおける各セグメントの見通しは次のとおりです。セグメント利益または損失は、営業利益または営業損失を使用しており、全社費用150百万円を含んでおりません。

[砂糖その他食品事業]

業績予想については、本経営統合により伊藤忠製糖株式会社の2023年1月1日から3月31日までの連結業績を織り込んだ結果、前回公表予想セグメント利益よりも増加する見込みです。

その一方で、主力の精製糖事業につきましては、エネルギーコストおよび原料調達コストの上昇を受け、業界環境はさらに厳しい状況です。また、本経営統合による経営統合関連費用も発生しており、前期実績を下回る見込みとなっております。

このような状況のもと、生活必需品である砂糖を消費者の皆様へ安定供給し、社会的責任を果たすことを最優先として取り組んでまいります。

その他の食品事業につきましては、子会社ツキオカフィルム製菓株式会社において、既存市場の更なる深耕と販売拡大に向けた新たな用途と商品の開発に努めてまいります。

以上の結果、砂糖その他食品事業の売上収益は52,600百万円（前期比24.7%増）、セグメント利益は1,170百万円（同40.8%減）を見込んでいます。

〔健康産業事業〕

健康産業事業につきましては、新型コロナウイルス感染症による行動規制が緩和されるなか、オンラインレッスン配信の拡充や店舗リニューアルを実施しつつ、IT化によるコスト削減を推進、コロナ禍における新常態を見据えたサービス・運営体制を新たに構築し、早期の業績回復を目指してまいります。

その結果、売上収益は2,600百万円（前期比12.2%増）、セグメント損失は60百万円（前期はセグメント損失71百万円）を見込んでいます。

〔倉庫事業〕

倉庫事業につきましては、冷蔵倉庫・港湾運送ともに在庫水準の維持、稼働率の向上に努めてまいります。

その結果、売上収益は1,800百万円（前期比14.5%増）、セグメント利益は340百万円（同31.1%増）を見込んでいます。

イ. 経営統合に伴う記念配当の金額について

当社は、「資本政策の基本的な方針」において、中長期的に親会社所有者帰属持分当期利益率（ROE）向上を図り、成長投資と株主還元の充実を両立させることとしております。

利益配分につきましては、連結配当性向（DPR）60%、または親会社所有者帰属持分配当率（DOE）3%のいずれか大きい額を基準に配当を行います。

加えまして、経営統合を記念し本年度に記念配当を実施する旨、2022年12月12日の「伊藤忠製糖株式会社との経営統合に際しての記念株主優待および記念配当に関するお知らせ」で公表しておりますが、具体的な記念配当金額については、経営統合に伴う連結財政状態計算書における影響が把握出来た時点で、速やかに公表する予定です。

（参考）年間配当予想の内容（2022年11月8日公表）

基 準 日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
2023年3月期	33円00銭 (当期実績)	33円00銭 (予想)	66円00銭 (予想)
前 期 実 績 (2022年3月期)	33円00銭	34円00銭	67円00銭

※配当予想につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の配当は様々な要因により異なる可能性があります。また、2023年1月1日付の当社と伊藤忠製糖株式会社との経営統合による影響は織り込んでおりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	7,649	7,694
営業債権及びその他の債権	4,827	6,328
その他の金融資産	6,140	4,350
棚卸資産	6,204	7,150
その他の流動資産	255	225
流動資産合計	25,078	25,750
非流動資産		
有形固定資産	11,238	10,805
使用権資産	2,787	2,959
のれん	2,515	2,515
無形資産	311	260
持分法で会計処理されている投資	11,925	12,003
その他の金融資産	5,960	6,020
退職給付に係る資産	670	628
繰延税金資産	142	135
営業債権及びその他の債権	5	8
その他の非流動資産	498	480
非流動資産合計	36,056	35,819
資産合計	61,134	61,569

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	1,300	1,300
営業債務及びその他の債務	3,028	3,795
リース負債	944	910
その他の金融負債	32	216
未払法人所得税等	403	315
その他の流動負債	1,889	2,068
流動負債合計	7,597	8,605
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	0	0
リース負債	2,908	2,935
その他の金融負債	108	101
退職給付に係る負債	262	270
引当金	419	421
繰延税金負債	896	859
その他の非流動負債	35	35
非流動負債合計	4,632	4,625
負債合計	12,230	13,231
資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	11,614	11,621
自己株式	△292	△288
その他の資本の構成要素	1,488	1,504
利益剰余金	29,093	28,501
親会社の所有者に帰属する持分合計	48,904	48,338
資本合計	48,904	48,338
負債及び資本合計	61,134	61,569

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	35,222	38,042
売上原価	28,394	31,719
売上総利益	6,827	6,322
販売費及び一般管理費	4,619	5,083
その他の収益	90	28
その他の費用	23	17
営業利益	2,275	1,250
金融収益	80	104
金融費用	45	38
持分法による投資利益	107	96
税引前四半期利益	2,418	1,413
法人所得税費用	748	574
四半期利益	1,669	839
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,669	839
非支配持分	—	—
四半期利益	1,669	839
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	75.58	37.98

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	1,669	839
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定する金融資産	△56	115
持分法適用会社におけるその他の包括 利益に対する持分	△0	0
純損益に振り替えられることのない 項目合計	△56	115
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	50	152
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	50	152
税引後その他の包括利益	△6	267
四半期包括利益	1,663	1,107
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,663	1,107
非支配持分	—	—
四半期包括利益	1,663	1,107

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2021年4月1日時点の残高	7,000	11,603	△296	3	1,401
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	50	△56
四半期包括利益合計	—	—	—	50	△56
自己株式の取得	—	—	△0	—	—
配当金	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	6	4	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	0
非金融資産への振替	—	—	—	△47	—
所有者との取引額合計	—	6	4	△47	0
2021年12月31日時点の残高	7,000	11,610	△292	6	1,345

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	合計
	確定給付制度の再測定	合計			
2021年4月1日時点の残高	—	1,405	28,830	48,543	48,543
四半期利益	—	—	1,669	1,669	1,669
その他の包括利益	—	△6	—	△6	△6
四半期包括利益合計	—	△6	1,669	1,663	1,663
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0
配当金	—	—	△1,458	△1,458	△1,458
株式報酬取引	—	—	—	11	11
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	0	△0	—	—
非金融資産への振替	—	△47	—	△47	△47
所有者との取引額合計	—	△47	△1,458	△1,494	△1,494
2021年12月31日時点の残高	—	1,352	29,041	48,712	48,712

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2022年4月1日時点の残高	7,000	11,614	△292	35	1,453
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	152	115
四半期包括利益合計	—	—	—	152	115
自己株式の取得	—	—	△0	—	—
配当金	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	7	3	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	△49
非金融資産への振替	—	—	—	△202	—
所有者との取引額合計	—	7	3	△202	△49
2022年12月31日時点の残高	7,000	11,621	△288	△15	1,519

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	合計
	確定給付制度の再測定	合計			
2022年4月1日時点の残高	—	1,488	29,093	48,904	48,904
四半期利益	—	—	839	839	839
その他の包括利益	—	267	—	267	267
四半期包括利益合計	—	267	839	1,107	1,107
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0
配当金	—	—	△1,480	△1,480	△1,480
株式報酬取引	—	—	—	10	10
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	△49	49	—	—
非金融資産への振替	—	△202	—	△202	△202
所有者との取引額合計	—	△252	△1,430	△1,672	△1,672
2022年12月31日時点の残高	—	1,504	28,501	48,338	48,338

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式交換および吸収分割)

2022年12月6日開催の臨時株主総会で承認された株式交換契約及び吸収分割契約に基づき、2023年1月1日付で、当社を株式交換完全親会社とし、伊藤忠製糖株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を行うとともに、グループ経営管理事業及び資産管理事業を除く当社の全ての事業を、当社の完全子会社である日新製糖株式会社(2023年1月1日付で商号を「日新製糖分割準備株式会社」より変更しています。)に承継させ、持株会社体制への移行が完了しました。

本経営統合にあたり当社の一部株主から会社法第797条に基づく当社普通株式1,721,700株について株式買取請求がなされたため、本経営統合の効力発生日2023年1月1日に法令に基づき当社が取得し、2023年1月27日開催の取締役会において、当該株式を1株当たり1,885円で買取ることについて決議しました。